

第2・第4水曜日
びん・缶 同時に収集



第2水曜日	第4水曜日
びん	缶

※第1・第3の紙パック・ペットボトルの収集は従来どおりです

毎日出されるごみの量は、ライフスタイルの変化などにより年々増えつづけており、ごみの量を減らすこと、資源として再利用することは私たちの快適な生活環境を守っていくうえで地域の人たちが真剣に取り組まなければならない重要な課題といえます。

変わります。



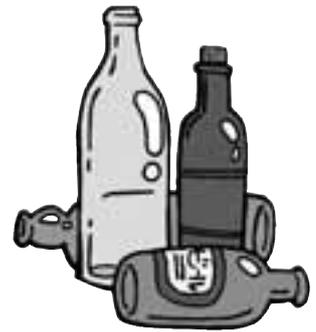
4月から分けて集めます

安平・厚真行政事務組合では、4月1日よりガラスびんの再資源化を行います。

今まで、ガラスびんと缶を同じ曜日に収集してきましたが、4月からは二種類に分けて収集するため、それぞれ月一回の収集となります。

ご存知ですか？ びんのリサイクル 「3R」と「リデュース」

あきびん回収の流れは、主に販売店を経由し、洗って繰り返し使用するリターナブルびん（ビールびんなど）の流れと町のごみステーションで回収し、資源化センター等を経由し、砕いて新しいガラスびんの原料として利用するワンウェイびん（ジュースのびんなど）の流れがあります（図参照）。



このリターナブルびんのように繰り返し使用する流れを「リユース」、ワンウェイびんのように資源として再び使用する流れを「リサイクル」とよばれています。

ところで、最近のビールびんや牛乳びんの重さが軽くなっているのをご存知でしょうか。ビールびんで約21パーセントの減少、牛乳びんで約43パーセントも軽量化が進んでいます。

このように生産する段階でごみを出さないようにする流れを「リデュース」といい、最初の頭文字をとって「3R」とよばれ、循環型社会の実現に欠かせないものとして提唱されています。

ガラスびんは循環型社会を築く目的に即した容器といわれています。

あきびんはこうしてリサイクルされます

■あきびんの主な回収システム

